

教科(科目)	家庭(家庭基礎)	単位数	2単位	学科・学年・コース・組	普通科 2年次
使用教科書	実教出版 「図説 家庭基礎」				
副教材等	なし				

1 学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

2 指導の重点

- ① 人の一生を生涯発達の視点でとらえ、家族・家庭の意義、家族、子ども、高齢者、そして社会との関わりについて理解する。
- ② 自立した生活にむけて基礎的な知識と技術を習得するとともに、家庭生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につける。

3 学習の計画

学期	単 元 名	学 習 活 動 (指 導 内 容)	時間	評価方法
前期	1. 自分らしい生き方と家族	・自分らしく生きる・家族に関する法律 ・子どもの発育と発達・親になること ◎定期考査	10	・授業、実習への参加の仕方や態度 ・ワークシート ・視聴覚教材レポート ・実習作品 ・定期考査
	2. 子どもとかわる		10	
	3. 高齢者とかわる	・高齢者の心身の変化と生活	8	
	4. 社会とかわる	・支え合う暮らし・社会福祉	2	
	5. 衣生活をつくる	・衣服の機能・性能・計画・管理 ◎定期考査	5	
後期	5. 衣生活をつくる	・衣生活作品製作	5	
	6. 食生活をつくる	・食品の栄養素と衛生・安全 ・調理実習 ◎定期考査	7 3	
	7. 住生活をつくる	・室内環境と住まいの管理	7	
	8. 消費行動を考える	・主体的な消費行動と契約	3	
	9. 経済的に自立する	・家計と収入・支出 ◎定期考査	10	

計70時間 (50分授業)

4 課題・提出物等

・学習プリント(毎時間)・授業プリントファイル(年4回程度)・実習課題・長期休業課題 等

5 評価規準・評価方法

評価は次の4つの観点から行います

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。

6 担当者から一言

必修科目です。出席時数が不足しないよう、授業に出席しましょう。知識を身につけるプリント学習と技術を身につける実習を通し、自分の生活を見直すとともに課題解決の力をつけていきます。